

橋詰圭一さんを  
応援します。



## 交通の不便を 解決してほしい

この4年間に、子どもの健康や教育のために頑張っ  
て、鈴鹿市は三重県内で一  
番早く「子ども医療費の窓  
口無料」を実現しました。

これからは、橋詰さんも  
お世話している「コミバス  
をよくする会」の無料のオ  
ンデマンド巡回バスを作る  
運動も、引き続きバスのな  
い地域の高齢者や住民のた  
めに役立ってほしいと思っ  
ます。さらに、地震と津波  
の恐怖から海岸部の住民を  
守ってほしいと思います。

(江島本町・辻井 良和)

## 笑顔が変わった

どちらかというところ「縁の  
下の力持ち」だった橋ヤン  
が、市会議員のバッジをつ  
けたとたん、まるで水を得  
た魚。フットワークが軽く、  
地域住民の要望があればど  
こへでも飛んでいく。一方  
で持ち前の「勉強熱心」ふり  
を發揮し、毎回の議会質問  
には周到な準備のあとがう  
かがわれる。

最近、気が付いたことが  
ある。橋ヤンの笑顔が変わっ  
た。たくさんの仕事をして  
きた自信が、そこには表れ  
ている。彼のさらなる活躍  
を切望するものである。

(寺家 丁目・吉田 一男)

## 仕事が速い

先日、住民懇談会で医療  
訴訟の相談があった。翌日  
資料を集めてくれて、病院  
などを回って対応できた。  
以前にも要望が出されたが  
すぐ解決出来た。そして一  
見、無愛想に見える橋詰さ  
んだが、話してみると驚く  
ほど優しい笑顔が返ってこ  
る。(稲生西・糸柳 章司)

## チラシづくりで 市民運動を支える

チラシづくり、パソコン  
のお医者さんでも有名な橋  
詰さん。市議になられても、  
庶民のために活躍。頼まれ  
ると断れない性格。これか  
ら、平和や民主主義をま  
もる市民運動を支えてくだ  
さい。(山本 あけみ)

# 今でしよ!!

# コミュニティバス 地域バス コミバス

## みなさんの声を

## 市政に届けます



こんにちは  
鈴鹿市議会議員

# はしづめ

## 橋詰 圭一 です

### 2つのお約束

- ①しっかりチェックと提案、きっちり報告。
- ②何でも相談・暮らしの困りごと解決のお手伝い。

鈴鹿民報

橋詰圭一さんの経歴と活動をお知らせします。  
2018年秋号外 発行責任者 辻井良和 TEL 386-0529

日本共産党

生活相談・労働相談 お気軽にご連絡下さい。

〒510-0226 鈴鹿市岸岡町2874-1 橋詰 圭一  
電話・FAX 059-386-8561 携帯 090 6577 3617  
メール k\_hasizume\_12@yahoo.co.jp  
ホームページ <http://suzuka-hasizume.jimdo.com/>



生活相談地域【主な小学校区】愛宕、白子、鼓ヶ浦、栄、旭が丘、稲生、飯野、明生



安倍内閣の暴走ストップ！  
国の政治にもものを言ってこそ市民のくらしは守れます。

# 好きです、鈴鹿！ 住みよい街に。



## ごあいさつ

みなさんのお力で議会へ送っていただき、日々学び、元気いっぱい活動しています。

4つの常任委員会を経験し、年4回の定例議会では必ず一般質問を行い、党市議団の議会報告「すずか民報」と、個人の議会だより「話の種」で議会内外での活動を市民の皆さんにお伝えしてきました。

特に市民の方の要望の強い、コミュニティバス・地域バスは、5回の一般質問を行い、実現めざして頑張っています。

国民健康保険や介護保険、上下水道料金の値上げでも、財政分析を行い、値上げ回避の提案を行ってきました。

また、皆さんからの身近な要望、道路や側溝改修、生活保護申請なども、相談者の方と一緒に考え、行動します。

私は掲げた公約の実現へ、党議員団3人で力を合わせ、市民の皆さんとご一緒に取り組みます。

ご支援を心からお願いいたします。  
(橋詰 圭一)

## 3つの重点政策

- ①今でしょ！コミバス！
  - ・高齢者と交通弱者のための、新しい生活交通システムの導入
  - ・地域巡回バスと中央循環バスの提案
- ②子育て応援の街！
  - ・子育て支援の充実、子どもが健やかに育つ環境づくり
  - ・多子世帯への学校給食費補助、学校トイレの改修
- ③低所得者の生活支援！
  - ・生活保護の法に則った運用
  - ・市民の暮らし最優先の市政に

## 私の原点

## ホンダ大好き



工業高校時代は自動車倶楽部で、毎日クルマいじりをしていました。ホンダに入社後は、ずっとエンジン工場・機械加工の職場で働きました。ホンダの職場で60才の定年まで働けたことは、本当に幸せでした。

「自分が幸福になるように働け」という創業者の考えに共感しながらも、多くの同僚が

退職していくなかで「人間らしい生き方、働き方」を探求しつつ、21才で日本共産党に入党。多くの人と出会い、学び、充実した日々を送ってきました。

83年から、党本田支部発行の職場新聞「ワイパー」編集長として毎月三千部発行。職場の生の声を取り上げ、働くルールを守ろうと呼びかけました。



趣味はハイキング、バイク



2011年8月定年退職日



2009年「1日派遣村」で相談活動



高校・自動車部の親友と

## プロフィール

●1951年8月、大阪府泉南郡（現阪南市）生まれ。大阪府立今宮工業高校卒業。●1970年4月本田技研工業（株）鈴鹿製作所入社。60才まで勤務。●年金者組合、九条の会、鈴亀ユニオン、コミバスをよくする会、反原発、秘密保護法反対などの市民運動に参加。2015年4月、市議会議員立候補し当選、1期目。